

H YOG

教区新報



兵庫教区教務所
ホームページ



兵庫教区教務所
facebook

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号 (本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949 (代)
[編集] 兵庫教区広報部

2019. 6 205号

青年布教使が新活動 「終活フェア」や「百貨店での布教」など

広く一般の方に、浄土真宗に関心を持ってもらおうと、教区青年布教使が、ユニークな取り組みを行っている。

三月九日には、別院を会

場に「終活フェア in モダン寺」を開催。「宗教離れ、寺離れ」が進む中、自身の葬儀や家族のために何ができるのかを考える六十〜八十代の「終活世代」を中

心に法話を聴いてもらい、事相談を行い、また、六人み教えとのご縁をと実施の青年布教使がリレー形式で法話を行った。会場には他にも、教区参加の「蓮華会」加入者を中心に、青年布教使との交流があるNPO法人運営の他、模擬葬儀や仏



初めて法話を聴く方も（終活フェア）

など、賛同した三十六団体がブースを出展。

生前整理、仏壇、お墓葬儀、エンディングノート、書き方の相談、行政書士による遺言・財産分与・相続・成年後見の相談や、納棺体験・遺影撮影など「終活」に関する様々なブースの他、終活ミニセミナーも開かれた。また、屋外には霊柩車が展示され、そばやたこ焼きなどの屋台も並んだ。

四月二十四日と五月二日には、大丸百貨店須磨店を会場に「お坊さんとお茶しませんか」と題し、百貨店への一般来場者を対象として「仏教に関心をもってもらおう」という切り口で、法話や僧侶との茶話会を開催。

司会者とのかけ合いを交えながら、法話が行われ、法話の合間には、青年布教使と時間をかけて話が出来る様、お茶とお菓子をいただきながらの茶話会も行われた。

青年布教使の委員会では、今後も様々な活動を企画し、み教えが伝わるための取り組みを、継続して行っていく予定。



浄土真宗には「お味わい」という文化があります。ご法話を聞き、自身の味わいを述べることを言います。◆私が初めてこの文化に触れたのは十数年前、教師教修の時でした。何も食べていないのに味わうとは何事だろうか、と面食らってしまった。何も言えませんでした。その時の指導の先生は頑なに、感想を述べてくださいといとおっしゃらずに、お味わいをどうぞと貰われたのでした。◆理解し、批評することは仏の世界には期待されていないのです。ご法話は同じ話であつても何回も聞かせてもらいましよう。と言われます。なぜなら味わいの世界だからなのでしょう。◆わからなくても一度お腹にいれて味わってみる。年を重ねれば重なるほどに深まる世界がある。そんな素敵な宗教的文化が浄土真宗にはあります。◆「お味わい」という響きの中に、長い時間をかけて私を待ち続け、教えはぐくみ続ける仏の大いなるやさしさを味わいます。

揖龍東組 圓福寺 福岡智哉

慶讃法要期日決まる

準備事務所長に多田満之宗会議員就任

宗祖親鸞聖人は、一一七三（承安三）年にご誕生され、主著である『顕浄土真実教行証文類』の成立を親鸞聖人五十二歳の時、一二二四（元仁）元年とみて、この年を私たちの宗門では、立教開宗と定めている。

来る二〇二三（令和五）

年は親鸞聖人御誕生八十五年、また、翌年には立教開宗八百年にあたる記念すべき年を迎えるにあたり慶讃法要がお勤めになる。

それに伴い「親鸞聖人御誕生八十五年・立教開宗八百年慶讃法要準備事務所設置規程」が四月一日から施行され、法要準備事務所が設置された。

所長には、多田満之（赤



多田 満之 氏

穂北組西光寺住職）宗会議員が就任された。

法要準備事務所は、法要に関する準備事務を円滑に遂行するため、総局に特別部門として設置され、法要にかかる基本的事項、御消息披露、協賛行事、団参その他の参拝計画を担当する。

また、専如御門主様は、四月十五日、立教開宗記念法要のご親教で、法要の期日をお示しになり、宗旨が發布された。

【法要期間】2023(令和5)年

- 第1期 3月29日(水)～4月 3日(月)
- 第2期 4月10日(月)～4月15日(土)
- 第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
- 第4期 5月 6日(土)～5月11日(木)
- 第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

※いずれも1期6日間

浄土真宗の教学相談 第4回

浄土真宗のみ教えに関して、さまざまなご質問をお持ちの方がいらっしゃるのではないのでしょうか。この度の連載では、これまでお聞きした教学相談の中からいくつかのご質問を取り上げ、お聖教の言葉を依り所にしながら考えてみたいと思います。

浄土真宗の仏事はどのような意味があるのですか？



一般的に仏事は故人に対する追善供養、つまり故人とゆかりのある者が善事を実践し、亡き人を苦悩から救っていく営みとして理解されることと少なくありません。しかし、前回の相談事例でも申し上げましたように、浄土真宗の仏事は、故人に対する追善供養の営みではありません。

親鸞聖人は「ご在世中、法然聖人の仏事を大切に勤めておられました。本願寺第三代・覚如上人の書かれた法然聖人の伝記である『拾遺古徳伝絵詞』には、

月々四日夜礼讃念仏とりをこなはれけり。これしかなしながら、先師報恩謝徳のためなりと云々。

供養の仏事ではなく、法然聖人のご恩徳を讃え、感謝しながらお念仏のご縁をいたたく、「報恩謝徳」の仏事であったことが分かります。

これは法然聖人の仏事だけではなく、親鸞聖人の仏事に関しても同様でした。同じく覚如上人の著された『御伝鈔』や『口伝鈔』には、遺弟や有縁の方々がなされた親鸞聖人の仏事も、「ご報謝のお心で勤められていたことが記されています。

しかし何故、浄土真宗の仏事は追善供養ではなく、報恩謝徳の営みであるといわれるのでしょうか。それは「ただ今の、間違いない救い」を説くのが浄土真宗の教えだからです。

念仏の衆生は横超の金剛心を窮むるがゆゑに、臨終一念のタベ、大股涅槃を超証す。

（『教行証文類』）と親鸞聖人がおっしゃるように、念仏者は今こゝで如来より信心（金剛心）をたまわり、いのち

ち終ったその時に、必ずお浄土へ往生して仏と成らせていただきます。ですから浄土真宗の仏事は、お浄土へ先だって往かれた方々に対し、どこかで迷い苦しんでいるのではないかと心配して勤める、追善供養の営みではなかったのです。むしろ

反対に、煩惱を抱え苦悩の人生を生きる私こそが、仏さまと成られた亡き方々に案じられ、導かれていくことに気付かされます。

阿弥陀さまのお慈悲に抱かれ、お浄土の仏さまと成られた方は、「南無阿弥陀仏」のみ名と一つとなつて、遺された私たちを仏法へ導き入れる為にはたらき続けておられます。浄土真宗の仏事は、仏法へと導いてくださる故人を偲び感謝して、亡き方も私も共に救いくださる阿弥陀さまのお慈悲を聞かせていただく、大切なご報謝の集いであり、営みなのです。

龍谷大学・京都女子大学 非常勤講師
阪神西組 善教寺副住職

赤井 智顕

2019年度 兵庫教区一般会計歳計予算

(2019年4月1日～2020年3月31日)

[歳 入]

款	項	費 目	2019年度予算額	2018年度予算額	対比△減
1		賦 課 金	71,725,000	72,220,000	△ 495,000
	1	本年度賦課金	71,480,000	72,100,000	△ 620,000
	2	過年度賦課金	245,000	120,000	125,000
2		宗 派 交 付 金	28,020,000	27,750,000	270,000
	1	各 種 助 成 金	18,820,000	18,550,000	270,000
	2	地 方 事 務 費	9,200,000	9,200,000	0
3		願 記 手 数 料	4,700,000	4,000,000	700,000
4		会 費 収 入	4,300,000	2,480,000	1,820,000
5		回 金	40,000	2,820,000	△ 2,780,000
6		雑 収 入	2,515,000	2,870,818	△ 355,818
7		繰 越 金	11,000,000	20,369,182	△ 9,369,182
歳 入 合 計			122,300,000	132,510,000	△ 10,210,000

[歳 出]

款	項	費 目	2019年度予算額	2018年度予算額	対比△減
1		教 化 事 業 費	44,970,000	41,860,000	3,110,000
	1	実 践 運 動 費	41,340,000	38,190,000	3,150,000
	2	組教化助成費	3,630,000	3,670,000	△ 40,000
2		会 議 費	4,270,000	4,270,000	0
3		宗 会 選 挙 費	30,000	30,000	0
4		教 務 所 費	68,830,000	70,920,000	△ 2,090,000
	1	職 員 費	61,130,000	63,220,000	△ 2,090,000
	2	事 務 所 費	7,500,000	7,500,000	0
	3	災 害 対 策 費	200,000	200,000	0
5		回 金	2,697,000	5,203,000	△ 2,506,000
6		予 備 費	1,503,000	10,227,000	△ 8,724,000
	1	第 一 予 備 費	753,000	5,227,000	△ 4,474,000
	2	第 二 予 備 費	750,000	5,000,000	△ 4,250,000
歳 出 合 計			122,300,000	132,510,000	△ 10,210,000

組長・副組長等合同研修会

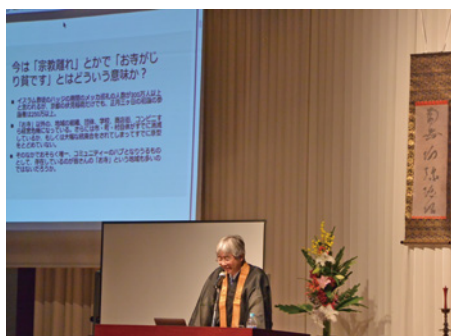
二〇一九年度「組長・副組長等合同研修会」が六月五日午後より、ホテル日航姫路を会場として開催された。

一九八三（昭和五十八）年に第一回の研修会が開催され、平成そして令和元年の今年が三十六回目となる。

兵庫教区は、三十九組がハブロック（阪神・神戸・東播・姫路・西播・丹波・但馬・岡山）に分

かれ、各ブロッックが交代で担当となり毎年度研修会を開催している。

今年度は、姫路ブロッ



講演の様子（那須師）

今年度の記念講演は、変化が著しい今の時代に浄土真宗本願寺派の寺院として、これからをどのように考えていくべきかなどの意見より「コミュニティベースの寺院運営」を講題として、龍谷大学教授である那須英勝師を招き記念講演が行われた。

講演後は、協議会・夕事と続き、最後は懇親会をもって全ての日程が終了した。



昨年度の様子（南あわじ市沼島）

サマースクール開校！ 参加者・スタッフ募集中！

兵庫教区少年連盟では、毎年夏休み期間に、教区内の寺院を会所としてサマースクールを開催している。今年度は岡山県玉野市の法親寺を会場に、七月二十九日～三十一日の二泊三日で開催される。

併せて、開催に当たつてのスタッフも募集している。お申込・お問合せは教務所まで。

☎〇七八二・四一五九四九

～千問書を使ったクイズ大会～ 第3回 なもナモ検定

参加者大募集!!

正解者にはスペシャルプレゼント!

なもナモ検定要項

- 日時 2019年8月24日(土)
13時受付 13時30分～
- 会場 モダン寺(本願寺神戸別院)
- 参加費 無料
- 対象 小学生から大人
- 申込み 兵庫教区教務所まで
〒650-0011
神戸市中央区下山手通8-1-1
電話 078-341-5949
Fax 078-341-8526



主催：兵庫教区子ども・若者ご縁づくり推進委員会

リーフレット 『おぼん号』 受付中



年三回発行のリーフレット『法』シリーズ。今回のおぼん号は、長岡大澄師(神姫組金蓮寺)にご執筆いただきました。一部二十五円(送料実費)寺号を無料で印刷致します。ご注文は教務所まで。

新職員のご案内



せき くん じゅん 順 慈 氏

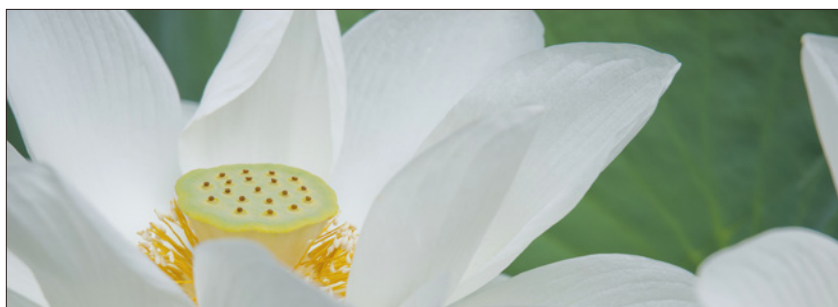


やまかげ なな 七 歩 氏

四月一日付で関順慈氏(兵庫教区神戸中組正應寺)、山蔭七歩氏(大阪教区茨木東組常稱寺)が書記・承仕として入所致しました。

異動

佐々木教子書記が退職、三月末日で岡橋大誠主事が奈良教区教務所へ異動となりました。



s a t s u m a y a

KYOTO

☎ 0120-310-063